

歳入 193億8925万円

歳出 176億9107万円

平成20年度鶴ヶ島市一般会計決算は、9月定例会において設置した決算特別委員会に付託され、9月2日、3日の2日間にわたり審査されました。

また、特別会計決算6議案については、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議において採決の結果、認定されました。

庁舎・公共施設の維持管理

Q 効率的な施設保全の取り組みについて。

A 財政課長 庁舎等の老朽化に伴い、建築課、秘書政策課、財政課で効率的な維持管理について研究し、公共施設の保全の考え方を策定した。それに基づき、21年度から建築課で各施設の自家用電気工作物保安業務や消防施設保守点検業務を一括管理する等の取り組みを行っている。

定額給付金

Q 未申請で、給付ができなかった分はどうなるのか。

A 秘書政策課長 現在約97割の支給率であるが、未申請の人がこのまま申請されない場合には、国庫へ戻すことになる。

自治会補助金

Q 250万円の増額理由は。

A 市民協働推進課長 自治会加入一世帯あたり運営費800円と事業費200円の補助をする外に、自治会館等の施設整備のための補助金制度がある。平成20年度は、2か所の自治会に補助をしたため増額となったものである。

市民農園開設補助事業

Q 開設状況について。

A 産業振興課長 5000平方メートル以上の市民農園を開設する場合には、1平方メートル当たり50円の補助をするもので、高倉に760平方メートル、12区画、太田ヶ谷に820平方メートル、20区画の市民農園が開設された。



市民農園（太田ヶ谷）

コンビニ収納事業

Q 20年度から新たに始まったがその成果は。

A 収税対策課長 取扱件数が5万2211件で、税額等の総額が9億4958万5309円であった。当初の見込み件数が4万件であったことから、十分な成果があったと考える。

公的個人認証システム

Q 実績について。

A 市民課長 20年度は、244件の認証を行い、合計610件となったものである。

図書館蔵書等弁償金

Q 内容について。

A 図書館長 図書館規則に基づき、図書をなくしてしまった場合等にその金額を弁償してもらったもので、23件、2万8633円の歳入となったものである。そのほか、図書の現物を弁償した件数が、118件あった。

成人健康診査事業

Q 受診率が低い状況をどのように考えているか。

A 保健センター所長 成人健康診査は、がん検診が主な内容となっているが、検診の種類や検査内容等により受診率が上がっていないのが現状である。医師会とも検診しやすい方法や啓発の仕方等を相談しているところで、今後は、さらに受診率の向上に努めていきたいと考えている。



共栄一本松線整備事業

Q 20年度決算時での今後の予定について。

A 道路建設課長 20年度は、測量と建物物件調査を行い、21年度は、道路設計業務を実施している。今後は、21、22、23年度で用地買収を、23、24年度で工事を行う予定である。



共栄一本松線の整備予定地

全国学力学習状況調査

Q 公開する理由は。

A 学校教育課長 児童生徒の基礎学力向上については、多くの市民が関心を持っていると認識している。

そのため、学校だけでなく家庭や地域の教育力を生かした取り組みをしていきたいとの考えから、本市では19年度より公開している。